

歯科の特性に着目した愛知県歯科医師会主導での肝炎対策

研究分担者：井上 貴子 名古屋市立大学病院 中央臨床検査部
研究協力者：浅田 一史、加藤 正美、内堀 典保 愛知県歯科医師会
研究協力者：渋谷 恭之、近藤 茂樹 名古屋市立大学大学院医学研究科 口腔外科学

研究要旨：2017年秋、名古屋市立大学病院の地域連携医療機関1,628施設を対象に行った肝炎に関するアンケート調査（回答率11.2% [183/1,628]）から、歯科医師は肝炎患者を専門医に紹介しづらい状況であることが推測された。さらに行った歯科323施設に限定したアンケート調査（回答率62.8% [203/323]）から、歯科クリニックでは肝炎検査実施が困難で、患者への問診から情報を入手していることがわかった。

2018年3月、愛知県歯科医師会と名古屋市立大学病院は、ウイルス性肝炎に関する啓発活動を協同で開始した。連携を開始して2年以上が経過したため、今年度はこれまでの啓発活動の評価と今後の活動方針を決定するために、愛知県歯科医師会員を対象にアンケート調査を行った。その結果、歯科医師会が主催する講習会は、歯科医師の肝炎に関する正しい知識や行動につながる事が分かった。歯科領域においては、まず標準予防策や正しい知識の徹底を目指し、講習会を継続して開催することで啓発効果が期待できると思われる。

今後はこれまでに得た情報を基に、広島県歯科医師会・東海信越歯科医師会などから、歯科領域で有効な肝炎対策の展開を開始する。

A. 研究目的

ウイルス性肝炎の治療は進歩し、肝臓専門医による適切な治療・経過観察で予後の改善が可能となった。一方、非肝臓専門医からのウイルス性肝炎患者紹介は依然として滞り、患者紹介率の改善が課題である。非肝臓専門医の専門性ごとに紹介しづらい理由が異なると予想されるため、各科の特殊性に応じた、有効で実現可能な対策を講じることが望ましい。

日本歯科総合研究機構 国民に対する「かかりつけの歯科医」に関する調査報告書（2015年）によると、市民の84.4%にかかりつけ歯科医があり、多くの方が歯科を受診していることが分かる。

当院では2017年秋、地域連携医療機関を対象に肝炎に関するアンケート調査を行った。その結果から、歯科医師が肝炎患者を認識しても専門医に紹介しづらい状況にあることが推測された。次に歯科に限定した

アンケート調査を行い、その結果を基に2018年4月より、短時間で記載できる「歯科版・肝炎用診療情報提供書」の運用を開始した。

2018年3月、愛知県歯科医師会と名古屋市立大学病院は歯科領域での肝炎啓発活動を協同で開始し、①歯科医師会主催の講習会開催、②「針刺し事故マニュアル」の改訂、③「肝炎下敷き」の作成、④肝臓専門医に関する情報提供、⑤簡易版診療情報提供書の導入、⑥歯科領域での肝炎医療コーディネーターの養成などを行ってきた。

連携を開始して2年以上が経過したため、今年度は啓発活動の評価と今後の活動方針を決定するために、愛知県歯科医師会員を対象にアンケート調査を行った。本報告書ではその結果を中心にこれまでの経緯を報告し、有効かつ全国で展開可能な歯科領域独自の肝炎対策について提案する。

B. 研究方法

1) 地域連携医療機関を対象とした肝炎に関するアンケート調査

調査期間と対象

調査期間は2017年10月の1か月間、対象は当院の地域連携医療機関 1,628 施設である。

方法

アンケートは、当院地域連携センターから他の目的の書類とともに郵送された。回答は肝疾患センターにFAXで返信とした。

2) 歯科の地域連携医療機関を対象とした肝炎に関するアンケート調査

調査期間と対象

調査期間は2017年12月の1か月間、対象は当院の地域連携医療機関（歯科）323 施設である。

方法

アンケートは、研究分担者から直接地域連携医療機関（歯科）へ郵送された。アンケートの目的・問い合わせ先を明記した添え状とアンケート用紙のみを郵送し、回答は肝疾患センターにFAXで返信とした。

3) 愛知県歯科医師会員を対象とした肝炎に関するアンケート調査

調査期間と対象

調査期間は2020年8月から9月の2か月間、対象は愛知県歯科医師会員 3902 名である。

方法

アンケートは愛知県歯科医師会から郡市区歯科医師会へ郵送され、各歯科医師会員に配布された（図1）。回答は愛知県歯科医師会にFAXで返信とした。



図1 愛知県歯科医師会員へのアンケート (A4 1枚)

C. 研究結果

1) 地域連携医療機関を対象とした肝炎に関するアンケート調査（要点のみ）

アンケート送付数 1,628 施設、回答数 183 施設で、回答率 11.2%であった。

No.	Q1	Q2	Q3-専門	Q4+HCV	Q4+HCV	Q5+HEV	Q5+HEV	
	年代	性別	肝臓専門医/非肝臓専門医	診療科	患者数	患者数	新規患者を紹介するか	新規患者を紹介するか
26	30	男	非肝臓専門医	歯科	10名以上	10名以上	しない	しない
63	60	男	非肝臓専門医	歯科	10名以上	10名以上	しない	しない
89	30	男	非肝臓専門医	歯科	数名	数名	しない	しない
103	50	男	非肝臓専門医	歯科	分からない	分からない	傾向により	場合により
122	40	男	非肝臓専門医	歯科	数名	数名	しない	しない

肝炎患者の存在を把握しているがあまり紹介しない

Q7-紹介しない理由						
患者が断る	紹介先が分からない	自院で対応可	今まで紹介しなかった	時間がないから	治らないから	その他
			○			
			○			口頭で指示します
				○		
					○	

自由記載欄：
 歯科医師は置き去りにされている知識を得る機会がほしい
 歯科医師向け講演会が少ない

→ 歯科に限定した2回目のアンケート

表1 歯科5施設の回答

歯科5施設の回答を表1に示す。歯科医師は肝炎患者の存在を把握しているが、専門医に紹介しづらい状況にあることが推測された。歯科の状況をより詳細に知るために、2回目のアンケートを計画した。

2) 地域連携医療機関（歯科）を対象とした肝炎に関するアンケート調査（要点のみ）

アンケート送付数 323 施設、回答数 203 施設で、回答率 62.8%であった。

・「自院で肝炎検査をしているか」検査していないと回答した施設が 97.0% (197/203)

で、保険制度から歯科クリニックでの肝炎検査実施は難しいことがわかった。

・「肝炎患者が何名くらい通院しているか」
 数名 48.2% (96/199)、10名程度 14.0% (28/199)、10名以上 16.1% (32/199) を合わせて 78.3%の施設が肝炎患者の通院を把握していることがわかった (図2)。

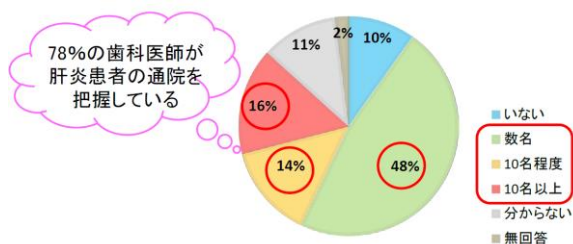


図2 肝炎患者が何名通院しているか

・「肝炎患者紹介に必要なこと」複数回答で、
 簡便な診療情報提供書 41.3% (45/109)、専門医療機関の情報 32.1% (35/109)、患者説明用資材 29.4% (32/109)、歯科医師の教育・啓発 18.3% (20/109) の回答が多く、これらは実現可能と考えられた (図3)。

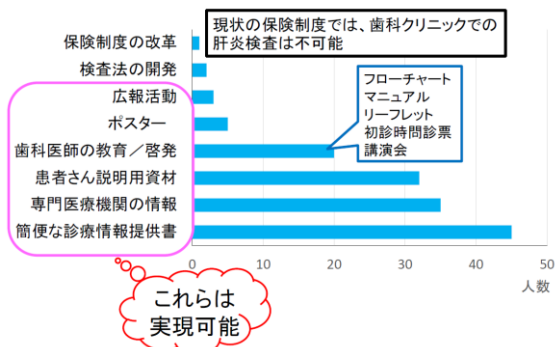


図3 肝炎患者紹介に必要なこと

アンケート結果に基づく当院での医療連携

肝炎紹介に必要なこととして、簡便な診療情報提供書が多く挙げられた。そのため当院では2018年4月より、短時間で記載できる「歯科版・肝炎用診療情報提供書」の運用を開始した (図4)。

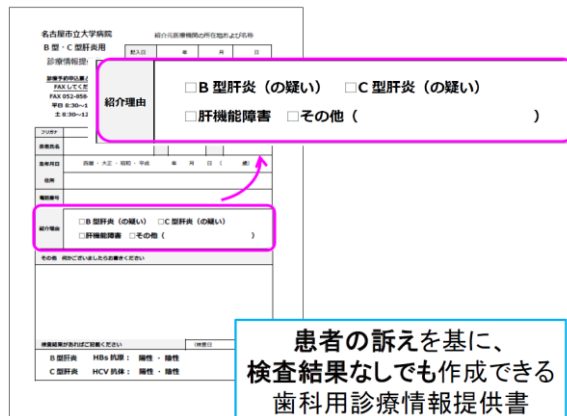


図4 歯科版・肝炎用診療情報提供書 (名古屋市立大学病院、2018年4月～)

3) 愛知県歯科医師会との肝炎対策

当院歯科口腔外科から愛知県歯科医師会を紹介してもらい、同会医療管理部・学術部と連携し、郡市区歯科医師会と地域の肝臓専門医療機関との医療連携構築を目指して、可能な肝炎対策を順次導入した。

・愛知県歯科医師会主催の講習会開催：各地区の学術担当会員・郡市区歯科医師会長を対象に講習会を企画し、肝炎の最新情報を提供する。

・郡市区歯科医師会主催の講習会開催：歯科医師会員を対象に、肝炎の講習会を開催する。クリニックで働く歯科医師に有用と思われる情報 (ウイルス性肝炎最新治療、HBワクチン接種の重要性、標準予防策など) を提供し、講習会後は意見交換を行う。

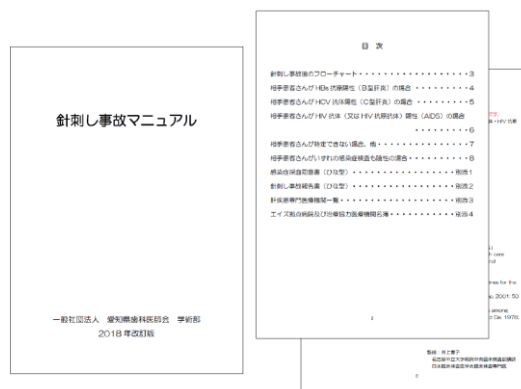


図5 針刺し事故マニュアル

・針刺し事故マニュアル (図5) の改訂：愛知県歯科医師会学術部とともに、針刺し事

故の際に役立つ情報をまとめ、旧マニュアルからの改訂を行った。

・「肝炎下敷き」(図6)の作成：愛知県歯科医師会学術部・医療管理部とともに歯科クリニックで使用する資材として「肝炎下敷き」を作成し、2019年12月全会員に配布した。歯科医師の視点から、チェアサイドですぐに知りたい情報を掲載し、歯科クリニックに合うデザインとした。

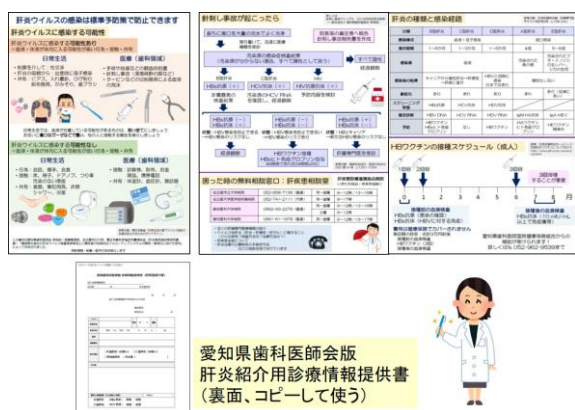


図6 「肝炎下敷き」

肝炎ウイルスに感染する行為・しない行為、針刺し事故時のフローチャート、県内の肝炎患診療連携拠点病院の連絡先、HBワクチンの接種スケジュールなどについて掲載、裏表紙に「肝炎用診療情報提供書」を配置

・肝臓専門医療機関に関する情報提供 (図7)：歯科口腔外科と肝臓専門医が併存する県内の医療機関を調べ、日本肝臓学会の専門医リストを改変した一覧を作成した。



日本肝臓学会肝臓専門医一覧から抜粋(HPから入手)して製作
歯科から肝臓専門医に紹介しづらい場合：歯科(クリニック)から歯科(病院)に紹介した後、併設する肝臓専門医に紹介

図7 歯科と肝臓専門医併設の医療機関リスト(抜粋)

・簡易版診療情報提供書の導入：郡市区歯科医師会で肝炎に関する意識が高い尾北歯科医師会で「歯科版肝炎用診療情報提供書」を作成、同会のエリアにある肝臓専門医療機関2施設への紹介促進を目指した。その後、愛知県歯科医師会「歯科版肝炎用診療情報提供書」の導入に至った。

・歯科領域での肝炎医療コーディネーターの養成：2018年度7名、2019年度29名の歯科医師が肝炎医療コーディネーターとして認定された。

以上の啓発活動について、アンケート調査を行った。

4) 愛知県歯科医師会員を対象とした肝炎に関するアンケート調査

アンケート送付数 3902 名、回答数 902 名で、回答率 23.1%であった。

①集計結果

・「年齢(n=902)」40代 203名、50代 233名、60代 300名が回答し、回答者全体の81.6%(736/902)を占めた(図8)。

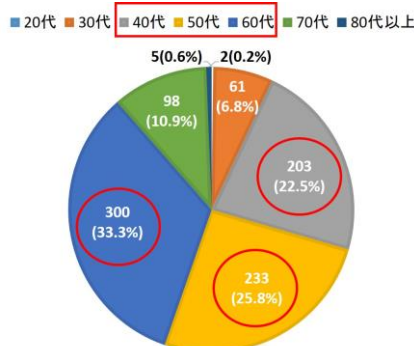


図8 回答者の年齢

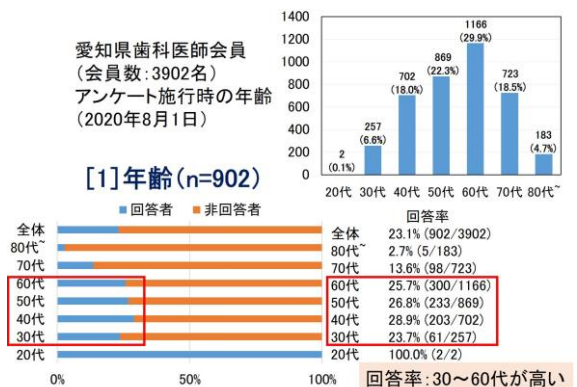


図9 愛知県歯科医師会員年齢分布と回答率

愛知県歯科医師会員の年齢分布から各年代の回答率を算出すると、30～60代が高いことが分かった（図9）。

・「肝炎の講習会への出席の有無（n=902）」出席したことがあるのは23.5%（212/902）であった（図10）。この講習会は肝臓専門医（研究分担者）以外に、愛知県歯科医師会学術部理事も講師を務めている。

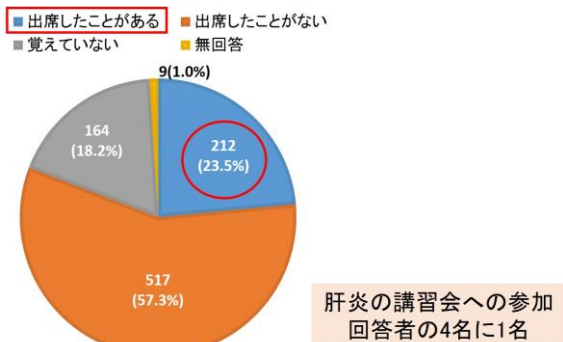


図10 過去2年間に肝炎の講習会・講演会に出席したことはあるか

・「肝疾患・肝炎の既往について質問しているか（n=902）」38.6%（348/902）が患者さんのために質問していると答えた（図11）。ただし標準予防策の下では質問しないのも適切な対応と考えられる。

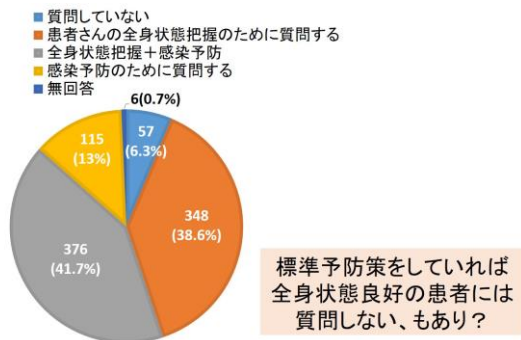


図11 肝疾患（肝炎）の既往について質問しているか

・「ウイルス性肝炎・肝疾患について興味がある内容（n=902）」B型肝炎・C型肝炎の最新治療、標準予防策、針刺し事故時の対応、肝炎患者さんへの対応は回答者の50%以上が興味があると答えた。「肝炎下敷き」に掲載されている内容は歯科医師の興味に一致していることが分かった（図12）。

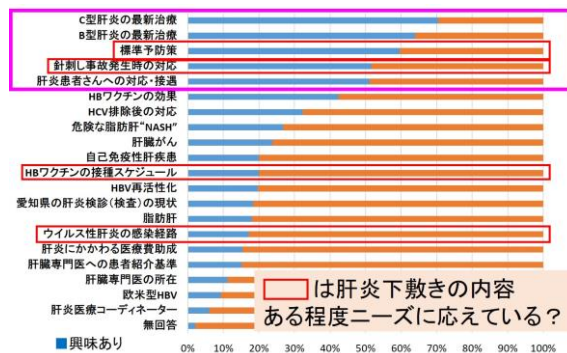


図12 ウイルス性肝炎・肝疾患について興味がある内容

・「今後肝炎の講習会に参加を希望するか（n=902）」50.7%（457/902）が参加を希望した（図13）。

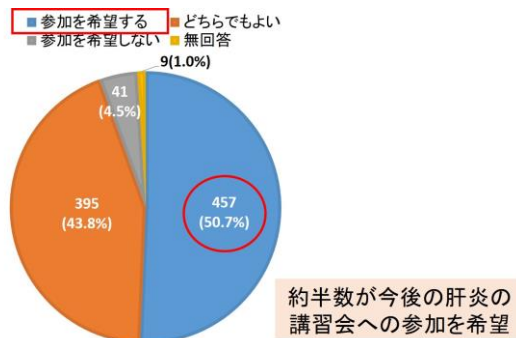


図13 今後の肝炎の講習会への参加希望

・「肝炎患者さんを紹介しているか（n=902）」肝臓専門医に紹介0.8%（7/902）、内科医に紹介9.2%（83/902）、機会があれば紹介したい28.3%（255/902）で、約4割が紹介に積極的な結果であった（図14）。

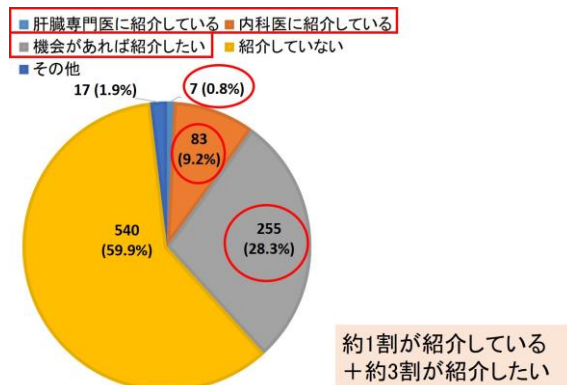


図14 肝炎患者さんを紹介しているか

・「肝炎医療コーディネーター養成講習会に参加したいか (n=902)」18.8% (170/902) が参加したいと答えた (図 15)。

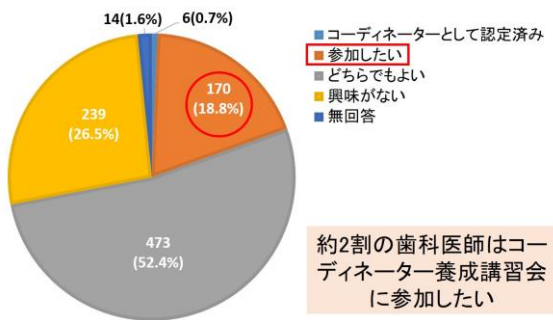


図 15 肝炎医療コーディネーター養成講習会に参加したいか

・「針刺し事故マニュアルを使用しているか (n=902)」45.0% (482/902) が最新版を使っていると答えた (図 16)。

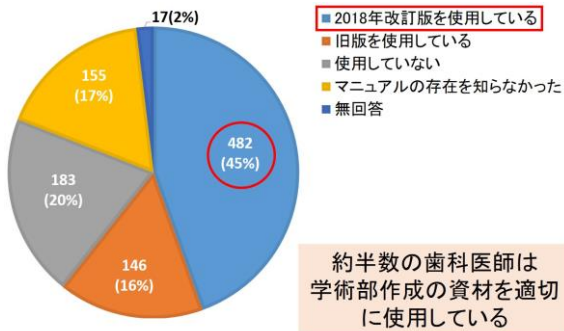


図 16 「針刺し事故マニュアル」の使用

②サブグループ解析 (肝炎の講習会・講演会への出席の有無で分類)

回答者 902 名から無回答・覚えていないと回答した 173 名を除外し、出席したことがある (受講済み) 212 名、出席したことがない (未受講) 517 名の 729 名を解析対象とした。

・30~50代の歯科医師を中心に講習会を受講している (n=729) (図 17)。

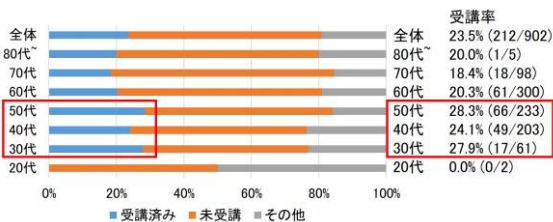


図 17 年代

・講習会受講済みの歯科医師は患者さんの全身状態を把握するために肝疾患に関する問診を行う傾向にある ($p=0.094$) (図 18)。

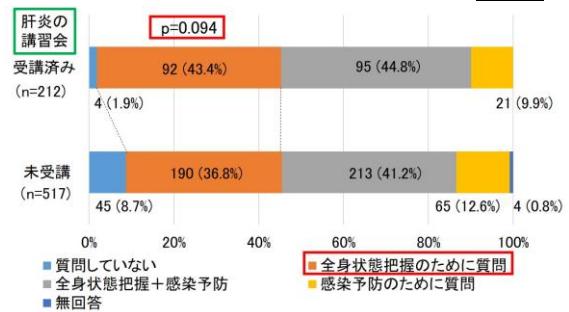


図 18 肝炎既往に関する問診

・講習会受講済みの歯科医師は肝炎に関して全般的に興味を持つようになる。特に HBV 再活性化、肝臓専門医への紹介基準、愛知県の肝炎検診の現状、肝臓専門医の所在に興味を持つ率が增加する。一方で B 型肝炎・C 型肝炎の最新治療、標準予防策、針刺し事故時の対応、肝炎患者さんへの対応、HB ワクチンの効果への興味は講習会受講の有無で変化しなかった (図 19)。



肝炎の講習会受講で □ はあまり変化しない □ は増加する

図 19 肝炎に関して興味がある内容

・講習会受講済みの歯科医師は今後も受講を希望する率が高い ($p=4.3 \times 10^{-10}$) (図 20)。

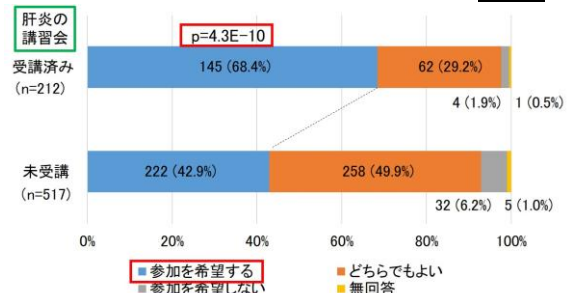


図 20 肝炎の講習会への参加希望

- ・講習会受講済みの歯科医師は肝炎患者さんを肝臓専門医・内科医へ紹介する率 ($p=6.0 \times 10^{-3}$)・紹介したいと考える率 ($p=6.3 \times 10^{-9}$)が高い(図21)。

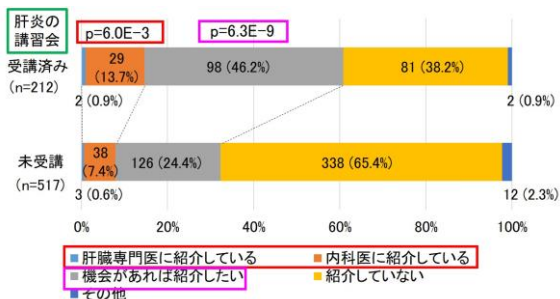


図21 肝炎患者さんを紹介しているか

- ・講習会受講済みの歯科医師は肝炎医療コーディネーター研修会への参加希望率が高く ($p=2.6 \times 10^{-6}$)、興味を持つ傾向にある ($p=0.010$) (図22)。

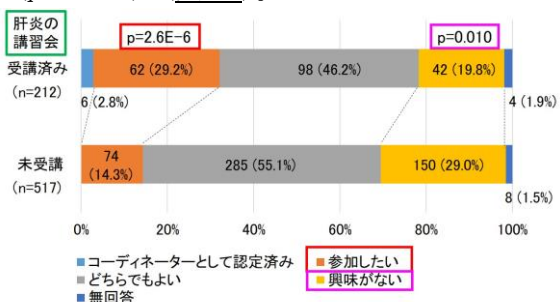


図22 肝炎医療コーディネーター研修会への参加希望

- ・講習会受講済みの歯科医師は学術部作成の資料「針刺し事故マニュアル」を適切に活用している率が高い ($p=1.4 \times 10^{-6}$) (図23)。

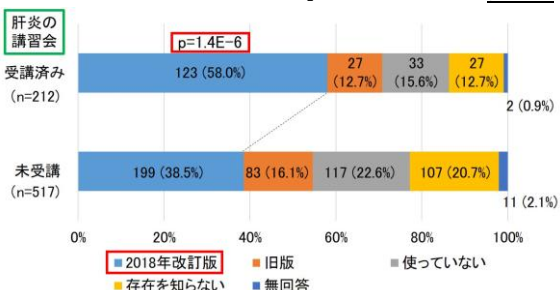


図23 針刺し事故マニュアルの使用

以上より、肝炎の講習会は歯科医師の肝炎に対する的確な行動に結びついているとわかった。

D. 考察

非肝臓専門医からのウイルス性肝炎患者紹介は依然として滞っており、患者紹介率の改善につながる画期的な対策の導入が求められている。当院では地域連携医療機関(かかりつけ医)が肝炎患者を肝臓専門医に紹介しやすくするシステム作りのため、全診療科を対象にアンケート調査を行い、情報収集を試みた。歯科医師の回答からは肝炎患者を認識・把握しても専門医に紹介しづらい状況であることが推測されたため、さらに歯科に限定したアンケート調査を行い、歯科領域の状況を知る端緒とした。

2017年のアンケート調査を通して、歯科医師は保険制度上、自施設(歯科クリニック)で肝炎検査の実施が困難であるため、患者への問診・初診時の問診票からウイルス性肝炎を含む既往疾患の情報を入手していることがわかった。

歯科医師より「肝炎患者を大学病院に紹介するのはハードルが高い」との意見が多く聴かれたため、愛知県歯科医師会の支援の下、郡市歯科医師会と地域の肝臓専門医療機関との医療連携構築を目指して、県内歯科医師会会員への肝炎啓発活動を開始した。折しも2018年4月より診療情報連携共有料の算定が開始され、医科歯科連携に関する歯科領域での受け入れは良好であった。

愛知県歯科医師会では、分担研究者監修のもとで学術部作成の「針刺し事故マニュアル」の改訂を行い、全会員に配布した。マニュアルは活用され、事故発生時、歯科医師会員は適切に対応できるようになった。愛知県歯科医師会主催で郡市区歯科医師会の代表者を対象に、肝炎に関する講習会を開催した結果、地元を持ち帰った代表者の提案で郡市区歯科医師会での講習会開催が実現した。さらに、HBワクチン接種の重要性を認識していない歯科関係者が少ないことがわかったため、すべての歯科医療スタッフへのスケジュールに沿ったワクチン

ン接種勧奨を開始した。

郡市区歯科医師会においては、2018 年度より講習会で各地区の医療圏に合わせた肝臓専門医療機関に関する情報提供を行い、肝炎の最新情報と併せて歯科医師の啓発に努めている

さらに、愛知県では2年間で36名の歯科医師を肝炎医療コーディネーターとして認定した。歯科医師は研修会を肝炎に関する新しい知識習得の機会として活用しており、引き続き多くの受講者希望者が予想される。今後、歯科医師の肝炎医療コーディネーターには、歯科領域での肝炎対策の指導的な役割が期待される。

歯科領域はユニークな環境であり、愛知県歯科医師会学術部、医療管理部とともに、歯科領域で好まれるポイントを押さえた「肝炎下敷き」を作成した。歯科領域をよく知る歯科医師が中心となってデザイン・材質・内容にこだわり作成し、現在歯科クリニックで使用されている。

2020 年度に行った愛知県歯科医師会員を対象としたアンケートの結果から、肝炎に関する講習会は歯科医師の啓発に有効であることが分かった。一度参加することで継続して参加したいと思われるため、今後繰り返すことでさらに効果が期待できる。また、肝炎の講習会で講師ができる歯科医師を養成することも有効な手段である。

今後愛知県では、以下の活動を重点的に行う。

① 歯科医師向けの肝炎医療コーディネーター講習会の開催：アンケートに回答した20%程度の歯科医師が参加を希望しており、歯科医師会の講習単位との同時取得で受講率向上が期待できる。

② チェアサイドで活用する資材：「肝炎下敷き」続編として、要望が多かった内容を掲載する。

③ 歯科スタッフへの肝炎啓発

愛知県外での活動は、広島県（加治屋幹

人研究分担者）・東海信越歯科医師会（三重・岐阜・静岡・新潟）・愛知県歯科医師会と親交の深い都道府県（高知・鳥取・福井・長野）において、愛知県歯科医師会の事業で効果があったものを中心に展開する。

愛知県内で行われている本取り組みの新規性は、歯科医師会主導で歯科領域に正しい肝炎の知識を広めることで、歯科スタッフ・患者双方が安心できる医療環境の構築を目指す点である。今年度のアンケート調査から、全国の歯科領域においても再現可能で有効な肝炎対策の提案が可能となった。引き続き当県が先駆的に、全国で展開・応用可能な事業のモデル化を継続する。

E. 結論

地域連携医療機関からの肝炎患者紹介を円滑にするために当院で行ったアンケート調査を起点に、愛知県歯科医師会が中心となり県下の歯科領域での肝炎対策に着手した。2年が経過した今年度、愛知県歯科医師会員に対しアンケート調査を行い、歯科医師会が主催する講習会の有用性を証明した。今後も本事業を継続することで、さらなる効果が期待できる。

F. 政策提言および実務活動

・現在愛知県歯科医師会ではHBワクチン2回接種を想定して、その費用の一部を助成している。歯科領域に従事者が正しいスケジュールでHBワクチンを受けられるよう、費用助成の拡大を提言している。

・県歯科医師会が主催する学術担当会員・郡市区歯科医師会長を対象とした講習会、郡市区歯科医師会が主催する会員を対象とした講習会の講師として、肝炎の正しい知識の普及に努めている。

G. 研究発表

1. 発表論文

1) Inoue T, Kusumoto S, Iio E, Ogawa S,

- Suzuki T, Yagi S, Kaneko A, Matsuura K, Aoyagi K, Tanaka Y. Clinical efficacy of a novel, high-sensitivity HBcrAg assay in the management of chronic hepatitis B and HBV reactivation. *J Hepatol* (in press)
- 2) Inoue T and Tanaka Y. Cross-protection of hepatitis B vaccination among different genotypes. *Vaccines*. 2020; 8:E456. doi: 10.3390/vaccines8030456.
 - 3) Inoue T and Tanaka Y. Novel Biomarkers for the Management of Chronic Hepatitis B. *Clin Mol Hepatol*. 2020; 26: 261-279.
 - 4) Inoue T, Baudi I and Tanaka Y. Novel biomarkers of hepatitis B and hepatocellular carcinoma: Clinical significance of HBcrAg and M2BPGi. *Int. J. Mol. Sci.* 2020, 21, 949; <https://doi.org/10.3390/ijms21030949>
 - 5) 榎本 大、日高 勲、井上 泰輔、磯田 広史、井出 達也、荒生 祥尚、内田 義人、井上 貴子、池上 正、柿崎 暁、瀬戸山 博子、島上 哲朗、小川 浩司、末次 淳、井上 淳、遠藤 美月、永田 賢治、是永 匡紹 肝疾患診療連携拠点病院における肝炎医療コーディネーター配置の現状 *肝臓* 2021年 62巻 2号 p. 96-98
 - 6) 井上 貴子、田中 靖人 B型慢性肝炎の管理に関わる新規バイオマーカーの開発と実用化 *医療検査と自動化* 2021年 Vol.41 第1号 3-12
 - 7) 井上 貴子、田中 靖人 ケースで考える困ったB型肝炎の対応 予防で困った場合 困ったウイルス肝炎 パーフェクト対応ガイド 49-54 南江堂 2020年 12月 10日発行
 - 8) 井上 貴子、田中 靖人 肝炎ウイルス検診 (HBs 抗原検査、HCV 抗体検査) 2020年 *Medicina* 第57巻 6号 932-936
 - 9) 井上 貴子、田中 靖人 B型肝炎の病態・検査に関する最近の話題 2020年 日本医師会雑誌第148巻第11号 2155-2159
- ## 2. 学会発表
- 1) Inoue T, Kusumoto S, Ogawa S, Ohue C, Yagi S, Aoyagi K, Tanaka Y Clinical effectiveness of a novel high-sensitive hepatitis B core-related antigen assay for early detection of hepatitis B virus reactivation. *Hepatology*. 2020; 72(1) Suppl: 440A-441A.
 - 2) Inoue T, Matsuura K, Iio E, Fujiwara K, Ogawa S, Ohue C, Yagi S, Aoyagi K, Tanaka Y Clinical effectiveness of a novel fully automated high-sensitive hepatitis B core-related antigen assay for monitoring nucleos(t)ide analogues therapy in hepatitis B envelope antigen-negative patients. *Hepatology*. 2020; 72(1) Suppl: 440A.
 - 3) Inoue T, Kusumoto S, Ogawa S, Ohue C, Yagi S, Aoyagi K, Tanaka Y Clinical efficacy of a newly developed high-sensitive hepatitis B core-related antigen assay for monitoring hepatitis B virus reactivation. *J Hepatol*. 2020; 73: S600-601.
 - 4) Inoue T, Matsuura K, Iio E, Fujiwara K, Ogawa S, Ohue C, Yagi S, Aoyagi K, Tanaka Y Clinical effectiveness of a newly developed and fully automated high-sensitive hepatitis B core-related antigen assay for monitoring nucleos(t)ide analogues therapy in hepatitis B envelope antigen-negative patients. *J Hepatol*. 2020; 73: S600.
 - 5) 井上 貴子、是永 匡紹、田中 靖人 職域肝炎ウイルス検査促進事業の成果～全国

健康保険協会愛知支部の取り組み～
2020年 臨床病理 Vol. 68 補冊 161

- 6) 井上 貴子、是永 匡紹、大井 涼、平山 達也、大参 秀徳、内田 幸作、藤原 圭、田中 靖人 愛知県下市町村の自治体肝炎検診事業の現状と今後の課題 2020年 肝臓 61巻 suppl. (1) A257
- 7) 井上 貴子、高橋 潤、山本 芳和、大井 涼、辻村 眞利慧、平山 達也、大参 秀徳、内田 幸作、藤原 圭、田中 靖人、是永 匡紹 全国健康保険協会愛知支部による肝炎ウイルス検査促進事業の成果 2020年 産業衛生学雑誌 第62巻臨時増刊号 354

3. その他

啓発資料

- * 愛知県版) HBVリーフレット改訂第2版
2021年2月～
- * 愛知県版) HCVリーフレット改訂第3版
2021年2月～
- * 愛知県歯科医師会肝疾患連携ピン
バッジ
2021年3月～

啓発活動

- 1) 井上 貴子 愛知県における肝炎ウイルス検査の現状 令和2年度愛知県肝炎医療コーディネーター養成講習会 2021年3月21日 Web配信 主催：愛知県、名古屋大学医学部附属病院
- 2) 井上 貴子 一生に一度は肝炎検査を～働く人を守るために職場でできること～ いま、企業に求められる「健康支援」とは？企業人事労務担当者向け「健康経営」セミナー 2021年3月8日 名古屋市 主催：中日新聞社、協会けんぽ愛知支部 後援：愛知県、健康保険組合連合会愛知連合会
- 3) 井上 貴子 愛知県での肝炎ウイルス陽性者受診促進に向けた新たな取り組

み 愛知県肝炎医療コーディネーター
スキルアップ講習会 2021年2月
15-21日 Web配信 主催：愛知県、名
古屋市立大学病院

- 4) 井上 貴子 ウイルス性肝炎のトピックスと医科歯科連携に向けた新しい試み 愛知県保険医協会歯科学術研究会 2021年1月17日 名古屋市 主催：愛知県保険医協会
- 5) 井上 貴子 感染症を理解する 2020年11月26日 愛知県歯科医師会地区担当者連絡会議 名古屋市 主催：愛知県歯科医師会
- 6) 井上 貴子 口腔内細菌と肝臓の深い関係～肝疾患 update 2020～ 2020年10月24日 尾北歯科医師会学術研究会 愛知県江南市 主催：尾北歯科医師会
- 7) 井上 貴子 油断できない脂肪肝～NASHって何？ 2020年8月2日録画開催 令和2年度日本肝臓学会肝がん撲滅運動市民公開講座 主催：日本肝臓学会、名古屋大学病院

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし